

平成22年度における随意契約見直し計画のフォローアップ

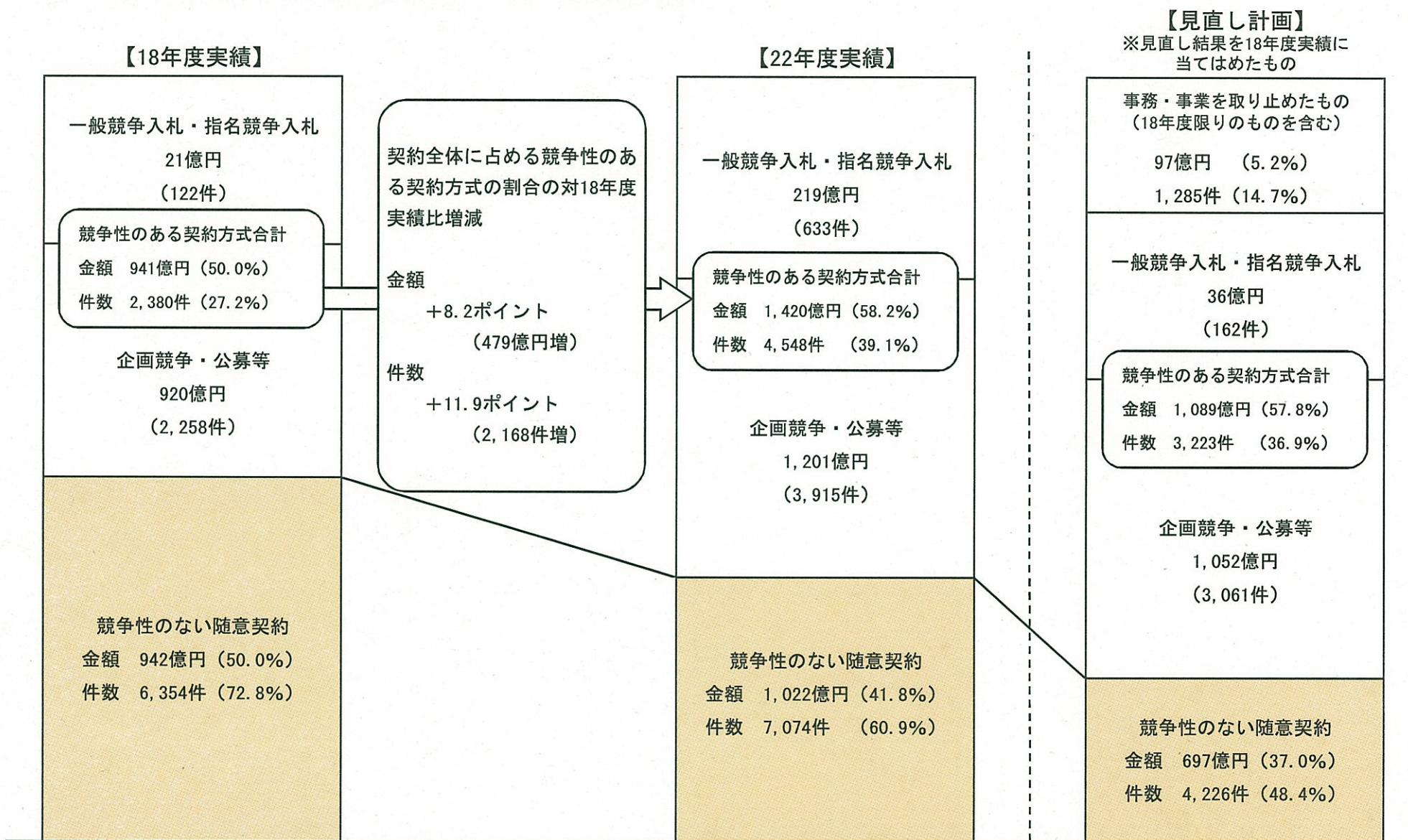
平成23年7月
日本放送協会

1. 随意契約見直し計画と平成22年度に締結した契約の状況

	平成18年度		平成22年度		比較増減		見直し計画	
	件数	金額(億円)	件数	金額(億円)	件数	金額(億円)	件数	金額(億円)
事務・事業をとりやめたもの (18年度限りのものを含む)								
競争入札	122 (1.4%)	21 (1.1%)	633 (5.4%)	219 (9.0%)	511 (4.0%)	198 (7.9%)	162 (1.9%)	36 (1.9%)
企画競争・公募等	2,258 (25.8%)	920 (48.9%)	3,915 (33.7%)	1,201 (49.2%)	1,657 (7.9%)	282 (0.3%)	3,061 (35.0%)	1,052 (55.9%)
競争性のない随意契約	6,354 (72.8%)	942 (50.0%)	7,074 (60.9%)	1,022 (41.8%)	720 (△11.9%)	80 (△8.2%)	4,226 (48.4%)	697 (37.0%)
合計	8,734 (100.0%)	1,883 (100.0%)	11,622 (100.0%)	2,443 (100.0%)	2,888 (0.0%)	560 (0.0%)	8,734 (100.0%)	1,883 (100.0%)

※計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

(参考) 図表 随意契約見直し計画と平成22年度に締結した契約の状況



2. 平成22年度において、随意契約から競争入札、企画競争・公募等に移行した主な契約

①一般競争入札への移行

- ・受信契約取次業務および受信料収納業務（20年度より継続） 529 百万円
- ・松山放送局インフォメーション業務 8 百万円

②指名競争入札へ移行

- ・放送センター電力需給契約（20年度より継続） 1,071 百万円
- ・千代田放送会館清掃業務 30 百万円
- ・放送センターにおける廃棄物処理作業 20 百万円
- ・放送技術研究所外構警備業務 12 百万円

③公募へ移行

- ・共同受信施設の緊急故障修理・点検調査等の保守業務（21年度より継続） 899 百万円

3.（参考）契約形態別応札者数（平成22年度）

契約形態 応札者数	一般競争入札		指名競争入札		企画競争等	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
2者以上	194件	1.0%	400件	6.6%	3,914件	92.3%
1者以下	39件	0.1%	0件	0.0%	1件	0.0%
合計	233件	1.1%	400件	6.6%	3,915件	92.3%

※ 一般競争入札等を実施した結果、1者応札、1者応募は40件。
 今後も、ホームページ等における入札公告等の周知に努め、競争契約を推進していく。